

はあ……、疲れた……
結局また朝帰りだよ……
あのクソ上司、毎回毎回俺に尻拭い
ばっかりさせやがって……
あーもうやだ、やっつてらんねえ

はあ……、それにしても
となりのJKのおっぱい
でかいな……
揉んだらきつと柔らかくて
気持ちいいんだろなあ……

ああ……
やっぱり……!!

あつ……!?
まずい……、疲れすぎて
思考が……
もしかしてまた『アレ』を
やっちゃまったのかも……

あの……私のおっぱい
揉みたいんですよね?
ここではあれですので
次の駅でお願いします



数ヶ月前、俺は連日の激務でついにぶっ倒れたらしくそのまま病院のベッドで目を覚ました、目が覚めた時俺は頭の中で何かが変わっているのを理解した。それがこの能力に目覚めた切っ掛けだった。それ以来俺はこの奇妙な力に振り回され続けている……

すたすた

便宜上『サトラセ』と名付けた。その能力は俺が誰かに強い欲求を抱くとその思考が相手の頭の中に流れ込み相手の意思を上書きしてしまう。

あ、私の名前ですね。私は四宮栞穂って言います。はい、ありがとうございます。ちよつと古風だけど私もこの名前気に入ってるんです。

スリーサイズは上から90・54・86です。あ、今日の下着は白でレースがついたちよつと可愛いタイプのやつです。

う、駄目だ。完全に俺の思考がこの娘に流れ込んで……!!

とりあえずあそこなら人目につきづらそうですから、早く行きましょう。

そして思考を上書きされた相手は俺の欲望がそのまま自分の意思に書き換わり、俺の欲望を解消するために行動しはじめる。



ふふ、今まで分からなかったけど
私のおっぱいって
こんなにエッチだったんですね

さ、び、び、び
私のエッチなおっぱい
たくさん揉んで気持ちよくな
なって下さい
ふふ、心配いりませんよ

今の私は貴方の欲望を
満たすための端末です
私を使って溜まった欲望を
ぜーんぶ吐き出しちゃいましょうね

いつもクラスメイトの男子たちが
私の胸をチラチラ見ている理由が
分かった気がします
こんなにスケベなおっぱいしてたら
たしかに見ちやいますよね

う、うお……
すごい……っ

はーっ
はーっ

くっ、ま、まずい……
止めなきゃって
分かっているのに
手が止まらない……っ
このままじゃ
また……



能力は彼女を操り
そして操られた彼女の行動が
俺の欲望をさらに増幅させ
それによって能力が連鎖していく
彼女の意思と行動が
次々と書ききされていってしまう。



それに佐藤さん
愛液で濡れたパンツ
大好きですし♡

はい、どろろ
佐藤さんの興奮のせいで
私の身体も同期しておまんこが
濡れまくっちゃってますけど
これってかえって都合いいですよね♡



ふはっ♡ やっぱり現役JK
それも初対面の女の子の
濃厚ペロチユーって
格別ですよね♡

あ、はい
次はパンツが見たいん
ですネ♪ わかりました♪

私、貴方のお陰で
この身体のエッチな使い方を
どんどん理解できて
来ちゃいました♡



さ、どうぞ佐藤さん
たまたま電車で見かけただけの
このデカパイJKの身体で
沢山気持ちよくなって下さい♡

はい、これが私の、四宮桔梗の
おまんこです♡
ここまで来たら後は
この準備万端のおまんこに
佐藤さんのガチガチになった
おちんぼをいれるだけです♪

き、桔梗ちゃん、俺はそのっ
本当はこんなことを
するつもりじゃ……
だ、だからっ……



あ、もうパンツの中も
見たくなっただんですね♪

それだけ私の身体で
興奮してくれてるって
ことですし、ふふ♡
嬉しいですよ♡

する
する

べちゃ



き、桔梗ちゃん
っ♡

す
ち
ん♡

あっ♡



大丈夫ですよ
佐藤さん♡ 嘘をつかなく
ていいんです♡

必死に理性で抑えて
いても貴方の本心は
十分わかってます

ね、佐藤さん♡

だからほら、
この能力を使って
この女の身体で沢山
楽しんでいきましょう

あ、今、電話に出てほしいって
思いましたよね？
ふふ、電話したままセックスしたい
だなんて、私バレたら学校生活
終わっちゃいますよ？

あ、え？
い、いや……

ふふ、大丈夫です♡
言わなくても私には全部
わかります、私は貴方の
欲望を映す鏡なんですから

もしもし、愛花？
あ、うん♪ 大丈夫……っ♡
ちよつと気分が悪くなっちゃって
あっ♡ そう、ちよつと
休んでたんだった……あっ♡

えっと、あ
友達の愛花からみたいです
今日は朝から文化祭の準備が
あったので早めに集まる
予定だったんです

着信
浅木愛花

私が遅くなったのを
心配して掛けて来てくれたん
ですね、ふふ♪愛花ってば
友達想いのいい子なんですよ

理性ではいけないことだと
理解しながらも
俺の前の少女の行動は
俺の理性を溶かし
どんとんと欲望を刺激していく



あつ♡ すごいっ♡
これっ♡ あつ♡ 佐藤さんっ♡
もっ♡もっ♡この身体で気持ちよくなっ♡て下さいっ♡♡

ガッ

あつ♡ あつ♡
私と俺の身体がいくっ♡
ああっ♡

ねえっば
—っ

— 桔梗っ!?
ねえ 桔梗っ!?

そして俺の急所を
知り尽くしているかのような
体の動きと膣内の締付けに



うん、だからちよっと
学校につくの遅れるっ
かもっ♡ んっ♡
は—っ♡ は—っ♡

— じゃあなのっ?
学校— ようか?

ガッ

眼の前の女の子の
甘い囁きと、柔らかい身体



あははっ…っ♡
本当にっ♡ ああっ♡
だ、大丈夫っ、だから
あつ♡ そこっ♡
凄いですっ♡ んんっ♡

— 桔梗?
ねえ!? 今一体

ガッ

おれはもう
あがなうことは
出来なかった……

でっ射精るっ!!

ああああつ

っ♡

イッイッ♡





あ、そうだ、言い忘れてましたが
愛花から佐藤さんに伝えたいことが
あるらしいので代わりますね

え？

それに私の身体はまだまだ
遊べそうですし
また今度私を使って
遊びましょうね佐藤さん♡

はぁ♡ はぁ♡
ふふ、最高でしたね佐藤さん
このたまたま出会ったJKと
通話中にセックスする
シチュエーションは最近では
かなり当たりの部類でした♪

はぁ♡ はぁ♡

その画面を見たとき
俺の思考が止まった

そこに映っていたのは
確かに先程まで
話していたであろう
彼女の友人のありえない姿

ありえない……サトラレは
対象が近くにいる必要が
あったはず……まさか……
そんな……

はじめましてっ!!
桔梗のクラスメイトで親友の
浅木愛花っていいまーすっ!!
私の電話が佐藤さんのおちゃんほ
の役に立てて良かったですっ!!

あと、佐藤さんは
私の身体も使ってみたって
思いましたよね!!
今からそっちに向かうので
ちよっとまって下さいね!!

俺はこの能力を
見誤っていたのかも
しれない……

おわり